

第3章

健康政策課

健康政策課は、企画調整担当、健康づくり担当及び予防接種担当で組織され、企画調整担当は、保健所運営会議の開催、各種統計調査、医療安全支援センター及び口腔保健支援センターの運営等を行った。健康づくり担当は、はちおうじ健康づくり推進協議会と共に、健康増進の普及・啓発、対象者に対する保健栄養に関する指導・助言を行った。予防接種担当は、各種予防接種を実施した。

1 広報活動・健康教育

(1) 広報活動

ア 広報媒体の活用

市広報等を通じて事業の周知を図るほか、所内外に垂れ幕及び看板等を掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況(表1-1)

種別	件数	内容
広報「はちおうじ」 (特集号記事含む)	91件	健康政策課33件、生活衛生課10件、保健対策課48件
タウン誌	6件	健康政策課4件、生活衛生課2件
看板の掲示	4件	健康政策課1件、生活衛生課1件、保健対策課2件
シティビジョン等	7件	保健対策課6件、生活衛生課1件
医師会報	12件	

イ ホームページによる情報提供

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報等をタイムリーに提供するため、ホームページによる情報提供に取り組んだ。

・ホームページアドレス

(PC版)<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/007/index.html>

(モバイル版)<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/mobile/kurashi/hoken/007/index.html>

(2) 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。また、保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材等を利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況(表1-2)

区 分	合 計		会 場			
	回数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
30 年 度 総 数	121	6,917	41	1,470	80	5,447
元 年 度 総 数	115	9,053	36	976	79	5,077
感染症(結核・エイズ含む)	19	4,686	5	348	14	1,338
精神	16	668	0	0	16	668
難病	4	134	0	0	4	134
アレルギー	—	—	—	—	—	—
成人・老人	—	—	—	—	—	—
健康・食育	9	134	4	59	5	75
歯科	—	—	—	—	—	—
医事・薬事	1	261	0	0	1	261
栄養	14	791	3	83	11	708
食品	45	1,764	23	465	22	1,299
環境	7	615	1	21	6	594
その他	—	—	—	—	—	—

(3)DVD等の活用

当所所有のDVD等を、講習会等で利用するとともに学校や老人福祉施設等へ貸出を行い、衛生思想の普及を図った。

DVD等の地域への貸出状況(表1-3)

区 分	食 品 衛 生	環 境 衛 生	栄 養	歯 科	運 動	健 康 づ くり	薬 乱 防 止	喫 煙 防 止	ア ル コ ー ル	救 急	思 春 期	エ イ ズ	感 染 症	S T D	精 神 保 健	合 計
数	5	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	—	—	25

(4)AED(自動体外式除細動器)練習機の貸出

当所所有のAED練習機を学校や地域団体に貸出を行い、AEDの操作方法の普及を図った。

AED練習機の貸出状況(表1-4)

貸出先	学校	町会自治会	他団体	庁内	合 計
回 数	4	0	3	0	7

2 研修・教育

(1)実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、保健師学生、管理栄養士学生、医学生、獣医師学生に対して下表のとおり実習を受け入れ、指導を実施した。また、保健所以外の業務についても保健福祉センター等の見学をおこない、対人保健サービスに関する理解を深めた。

令和元年度実習生等指導状況(表2-1)

対象	学校名	実施期間	指導人員	指導内容等
保健師学生	杏林大学保健学部看護学科	6月2日 ～8月2日	8名	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、 結核検診等
管理栄養士学生	実践女子大学生活科学部食 生活科学課	4月18日 ～7月2日	10名	講義：保健所各課及び保健栄養 業務について 見学：乳児健診、特定給食施設 指導等
医学生	東京医科大学医学部 信州大学医学部	7月11日 ～10月31日	9名	講義：保健所の仕事について等 見学：結核の接触者検診、感染 症の診査に関する協議 会、HIV検査、介護予 防教室、精神疾患患者の 家庭訪問の同行、食品衛 生監視検査同行等
獣医学生	日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科	8月26日 ～8月29日	1名	講義：保健所業務及び生活衛生 課業務について 帯同実習：生活衛生関係施設監 視、現場調査体験等

3 情報公開

保健所が保有する情報に対する公文書公開請求及び関係機関からの行政照会の件数は、下表のとおりであり、適切に公文書の公開又は情報の提供を行った。

情報公開の状況(表3-1)

区 分	件数	食品衛生	医事薬事	環境衛生	その他
公文書公開請求	512	265	130	116	—
行政照会	213	107	98	8	—

* 公文書公開請求の件数には、情報提供依頼件数を含む。各区分に計上した数は、各請求・照会ごとの対象公文書数を合計しているため、これらの計は件数と一致しない場合がある。

4 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

(1)人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

(2)衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。令和元年度における市内の実施状況は次のとおりである。

各種統計調査実施状況(表4-1)

調査名	目的	期日	対象
国民生活基礎調査	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定すること。	6月6日	12 地区 628 世帯
2019年社会保障・人口問題基本調査 (第8回世帯動態調査)	世帯変動の実態と要因を明らかにするとともに、世帯推計の精度を高めるための基礎データを収集し、厚生労働行政施策立案の基礎資料を提供すること。	7月1日	2地区 123世帯

(3)その他の統計・調査

地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を厚生労働省へ報告した。

5 健康づくり

(1)健康ネットワークとして健康づくりを支援する活動

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政がネットワークをつくり、健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを進めるため、「はちおうじ健康づくり推進協議会」を平成15年11月に設立した。同協議会とともにイベント等を通し、健康づくりに関する普及啓発活動を実施した。

ア 第16回市民健康の日「2019健康フェスタ・食育フェスタ」

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりを楽しみながら体験できるイベントを開催した。今年度より、健康フェスタ・食育フェスタを一つのイベントとして実施し、健康・食育の双方の観点から、健康づくりの普及啓発を行った。

健康フェスタ全体会及び実行委員会(表5-1)

項目	回数	開催日	内容等
健康フェスタ・食育フェスタ全体会	第1回	令和元年5月10日	開催にむけて、はちおうじ健康づくり推進協議会構成団体から推薦された委員による健康フェスタ実行委員会を設置して検討を進めた。
	第2回	6月13日	
健康フェスタ・食育フェスタ実行委員会	第1回	平成30年12月11日	
	第2回	平成31年2月5日	
	第3回	3月19日	
	第4回	4月23日	

健康フェスタ・食育フェスタ開催(表5-2)

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
29	5月21日	エスフォルタアリーナ 八王子	46団体	10,674名
30	5月20日	エスフォルタアリーナ 八王子	50団体	10,579名
元	5月19日	エスフォルタアリーナ 八王子	53団体	11,072名



イ 健康づくり活動発表会

地域でいきいきと活動しているグループや団体の発表を通じて、地域における健康づくりの活性化を図る事を目的に開催した。

実施状況(表5-3)

年度	内容	開催日 会場	参加団体	来場者
30	つながる・つなげる・健康づくり ～若い世代の地域参加・各世代の健康づくり～ 基調講演講師 NPO法人 ラフターヨガジャパン 田所メアリー氏、田所 孝氏	2月11日 南大沢文化会館 交流ホール	11団体	127名
元	親子のためのからだあそび ～パパ・ママいっしょに動こうよ！笑おうよ！～ 講師 株式会社P3 代表取締役/Studio TAKT EIGHT 主宰 /理学療法士/ヨガ・インストラクター 中村 尚人氏	2月11日 南大沢文化会館 交流ホール	11団体	107名

ウ 第40回八王子いちよう祭りへの参加

健康づくりに関する健康情報の発信や市民健康の日のPRを行った。

いちよう祭り参加状況(表5-4)

年度	開催日	参加団体	来場者
30	11月17・18日	8団体	7,781名
元	11月16・17日	7団体	10,085名

(2)健康づくりサポーター

地域において市民が生涯を心豊かにいきいきと生きがいをもって暮らせるよう、地域における健康づくりを推進することを目的とし、健康づくりサポーターを養成する。また、健康づくりサポーターが、地域に健康づくりの輪を広げていけるよう支援する。

健康づくりサポーター登録者数
(表5-5)

年度	登録者
30	129
元	127

(3)生涯を通じた女性の健康支援事業

妊娠、出産等女性固有の機能及び身体的特徴を有することから生じる女性の心身に関するさまざまな支障や悩みに対応するため、関係所管とともに教育・相談等を実施した。

女性の健康支援事業実施状況(表5-6)

年度	健康教育	健康相談	不妊・不育症相談
30	309回	通年実施	通年実施
元	256回	通年実施	通年実施

※保健福祉センター等、市の取り組みの計

6 食育の推進

市民一人ひとりの食に関する理解や関心を深め、健全な食生活の実践を目指す『第2期八王子市食育推進計画』に基づき、健康フェスタ・食育フェスタ、市民食育講座の開催やライフステージにあわせた食生活を応援する冊子の作成等を行った。

(1) 専門的栄養指導等

生活習慣病ハイリスク者・在宅難病患者等への専門的栄養指導及び集団指導を行った。

ア 個別栄養指導

個別栄養指導状況(表6-1)

年度	総数	再掲			
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他
30	45	32	1	0	12
元	19	12	0	1	6

イ 集団栄養指導

集団栄養指導状況(表6-2)

年度	総数	再掲				再掲
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他	精神
30	149	85	0	0	64	20
元	78	12	0	0	66	30

(2) 地区組織活動支援

ア 団体支援

市民の食生活の向上、健康づくりの推進のため地域で活動している団体への支援を行った。

団体支援(表6-3)

項目	実施回数	延べ人員
地域活動栄養士会	9回	68人
八王子管理栄養士の会ダイエタリー・フレンズ	8回	46人

(3) 国民健康・栄養調査

国民の総合的健康増進を図る基礎資料として、健康増進法に基づき厚生労働省の指定地区対象に調査を実施した。

(4) 食育推進事業

第2期八王子市食育推進計画の推進を図るため、八王子市食育推進会議を開催した。また、事業の取り組みとして健康フェスタ・食育フェスタの実施、食環境整備を行った。

ア 食育推進会議

八王子市食育推進計画の推進を図るため、総合的な見地から意見交換を行った。

イ 食環境整備事業

市民の健康寿命の延伸に向けて生活習慣病予防の観点から、市内の外食産業(飲食店、給食施設、スーパー等)に対し、野菜摂取や減塩、食事量の調整が出来るサービスを提供できる店舗の登録店制度を行い、外食産業と連携して食環境整備を図っている。

はちおうじ健康応援店(表6-4)

年度	登録店舗
元	82

ウ 市民食育講座

6月の食育月間にあわせ、市民の食育への関心や理解を深めるための講演会を実施した。

市民食育講座実施状況(表6-5)

開催日	会場	内容	参加人数
6月2日(日)	生涯学習センター クリエイトホール 5階ホール	成長期の子どものための栄養講座 ～元気にスポーツをするために～ 講師 帝京大学スポーツ医科学センター 大村 香織氏	138名

7 受動喫煙対策の推進

「健康増進法の一部を改正する法律」及び「東京都受動喫煙防止条例」に基づき、施設管理権原者や市民へ制度の周知啓発を行うとともに施設管理権原者を対象とした監視及び指導などを実施した。

(1) 苦情・相談による立入り件数等

施設管理権原者や市民からの苦情や相談により施設等を訪問し対応した。

立入りによる指導・助言件数及び指導・助言に応じない場合の勧告件数

年度	立入り件数	勧告数
元	27	0

8 予防接種

予防接種法に基づき、各種予防接種を実施し、感染症のまん延及び発病・重症化の予防に努めた。

定期(A類疾病)予防接種実施状況(表7-1)

区分		延接種者数	対象者数 ※1	接種率
定期 予 防 接 種	B型肝炎	9,597	-	-
	定期接種	9,431	9,411	100.2%
	特別接種(1・2歳児に対する経過措置) ※2	166	-	-
	ヒブ(インフルエンザ菌b型)感染症	12,583	12,854	97.9%
	小児用肺炎球菌感染症	12,843	12,854	99.9%
	四種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ)	13,203	12,854	102.7%
	三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)	12	-	-
	急性灰白髄炎(不活化ポリオ)	11	-	-
	二種混合(ジフテリア、破傷風)	3,730	4,813	77.5%
	結核(BCG)	3,230	3,137	103.0%
	麻しん風しん混合(MR)	7,584	-	-
	定期接種	7,355	7,652	96.1%
	特別接種(2～18歳の定期接種未接種者) ※2	229	-	-
	水痘(水ぼうそう)	6,691	6,886	97.2%
	日本脳炎	※3 17,747	16,559	107.2%
	子宮頸がん予防(ヒトパピローマウイルス感染症)	126	7,239	1.7%
	風しんの第5期(昭和37年(1962年)4月2日～54年(1979年)4月1日生の男性)	1,218	-	-
	先天性風しん症候群対策麻しん風しん混合特別接種 ※2	619	-	-
	19歳以上の妊娠を予定又は希望する女性	444	-	-
	上記女性の19歳以上の同居者	130	-	-
	妊婦の19歳以上の同居者	45	-	-
小計	89,194	-	-	
高 齢 者 定 期 予 防 接 種	高齢者インフルエンザ(実施期間:10月7日～1月31日)	59,252	151,465	39.1%
	高齢者肺炎球菌感染症	4,575	-	-
	定期接種	4,095	20,405	20.1%
	特別接種 ※2	480	-	-
	小計	63,827	-	-
計	153,021	-	-	

※1 対象者数は本市が接種対象者に送付した勧奨通知の累積件数

※2 市独自の費用助成制度

※3 延接種者数には特別接種対象者(平成11年(1999年)4月2日～21年(2009年)10月1日生)を含む。

南多摩5市定期接種相互乗り入れ実施状況(表7-2)

南多摩5市定期接種相互乗り入れ実施状況

(単位 人)

区分	町田市	日野市	多摩市	稲城市	延接種者数	
本市の市民が他市で接種	定期	254	2,015	955	42	3,266
	高齢者 ※4	424	897	1,321	49	2,691
他市の市民が本市で接種	定期	1,220	565	134	12	1,931
	高齢者 ※4	517	751	274	21	1,563

※4 高齢者の相互乗り入れはインフルエンザのみ。

9 医療安全支援センター

医療安全支援センターを運営し、医療に関する市民からの相談、苦情等に対応したほか、医療機関従事者への研修及び市民向け講座を開催し、医療安全に関する助言、情報提供を行った。

令和2年2月12日、八王子市医療連携推進懇談会に当センターの運営状況について報告した。

(1)医療安全相談窓口

相談件数(表8-1)

年度	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	1,018	85	103	91	88	71	68	97	91	70	81	85	88
元	935	84	85	95	93	83	63	67	59	80	72	79	75

相談者(表8-2)

年度	本人	家族・親戚	友人・知人	医療機関	その他	不明
30	671	277	11	2	25	32
元	650	232	18	1	19	15
割合(%)	69.5	24.8	1.9	0.1	2.0	1.6

内容(表8-3)

年度	相談	苦情
30	718	300
元	689	246
割合(%)	73.7	26.3

処理経過(表8-4)

年度	課題整理	対処方法の提案・助言・説明	医療・関係機関案内	当該機関(施設)へ連絡	立入検査(担当部署引継ぎ含む)	相談継続	市の関係部署案内	傾聴	その他(相談者から中断)	対応困難で終了(暴言等)
30	6	586	331	3	1	11	56	22	2	0
元	12	576	264	9	0	13	40	16	4	1

(2)講演会

講演会等(表8-5)

講演会名	開催日	会場	テーマ・講師	参加者数
医療機関従事者向け医療安全研修会	10月23日(水)	八王子市医師会館	感染対策・抗菌薬適正使用 講師 平井 由児氏	87名

※令和2年3月に開催を予定していた市民向け講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

10 口腔保健支援センター

医療従事者、福祉施設職員への研修を実施したほか、公立保育園3園及び市立小学校2校で口腔保健指導(歯みがき指導、歯科講話等)を実施した。また、口腔機能の維持向上に関するリーフレットを配布し、市民の生涯にわたる健康の保持及び増進を図った。

(1)研修会

研修会(表9-1)

研修会名	開催日	会場	テーマ・講師	参加者数
医療機関従業者向け研修会	11月27日(水)	生涯学習センター(クリエイトホール)5階ホール	高齢者の”食べる”を支える 講師 戸原 雄氏 小形 美乃氏	88名

(2)普及啓発

口腔保健指導開催状況(表9-2)

施設名	開催日	対象者
恩方保育園	9月12日(木)	5歳児
津久田保育園	9月19日(木)	5歳児
長房中央保育園	10月17日(木)	5歳児
第七小学校	11月20日(水)	特別支援学級(1~6年生)
第五小学校	2月17日(月)	特別支援学級(1~6年生)

リーフレット配布状況(表9-3)

名称	内容	部数	主な配布先
生えてきたよ！大人の歯	5~6歳頃の子どもを持つ保護者が気をつけるポイントをわかりやすく説明	110部	口腔保健指導を実施した保育園児の保護者 等
セルフケアと健診で歯と口の健康づくり	歯周病とむし歯から歯を守るポイントをわかりやすく説明	50部	口腔保健指導を実施した小学校児童の保護者 等
認知症も要介護も防ごう！ 口腔ケアとかむ力	口腔機能の向上が介護予防と健康長寿につながることをわかりやすく説明	6,230部	高齢者あんしん相談センター、保健福祉センター 等

11 災害対策

保健所(健康部)は、医療保険部と共に、災対医療保険部・健康部として市の災害対策本部に位置付けられている。

(1)体制

保健所の危機管理対応にあたるほか、災害対策本部、水防本部など市災対本部への配属、さらに災対医療保険部・健康部として2次救急病院等15か所の緊急医療救護所に要員を配置している。